

令和5年度発行「書道Ⅱ」シラバス案

書道Ⅱ	単位数	2単位
	学科・学年・学級	○○○○科 第○○学年 ○○組

1 学習の目標

学習の目標	<p>書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書・副教材等	東京書籍「書道Ⅱ」

2 学習計画

(1) 年間指導計画案

月	分野	学習内容 (教科書の構成)	教科書 書頁	配当 時数	学習活動例	学習指導要領の 内容	
四月 ～ 九月	漢字の書	漢字の書体とその特徴	4-5	適宜	・書道Ⅰで学習した漢字の書体の成立を踏まえて、それぞれの書体の特徴について確認する。	B(1)イ(7)(4)(7)	
		篆書	篆書の美	6-7	1	・書道Ⅰの篆書の学習を踏まえて、篆書の成立と変遷、書風の特徴について理解を深める。	A(2)ア(7)、 イ(7)(4)、 ウ(7)(4)
			「石鼓文」 「甲骨文」 「大孟鼎」 コラム：青銅器の種類と役割	8-13	5	・書道Ⅰの篆書の学習を踏まえて、個性的で多様な篆書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。 ・篆書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。	B(1)ア(7)、 イ(7)(4)(7)(4)
			篆刻・刻字	14-21	6	・印の歴史や役割、用法などを理解する。 ・書道Ⅰの篆刻の創作を踏まえ、創作の手順に従って落款印を刻し、押印する。 ・創作の手順に従って、彫刻刀を使い表札などを制作する。	A(2)ア(7)、 イ(7)(4)、 ウ(7)(4) B(1)ア(7)、 イ(7)(4)(7)(4)
	隷書	隷書の美	22-23	1	・書道Ⅰの隷書の学習を踏まえて、隷書の成立と変遷、書風の特徴について理解を深める。	A(2)ア(7)、 イ(7)(4)、 ウ(7)(4)	
「礼器碑」 「張遷碑」 「開通褒斜道刻石」 「居延漢簡」 コラム：書写材料の変遷 －木簡から紙へ－		24-29	5	・書道Ⅰの隷書の学習を踏まえて、個性的で多様な隷書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。 ・隷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。	B(1)ア(7)、 イ(7)(4)(7)(4)		

月	分野	学習内容 (教科書の構成)	教科 書頁	配当 時数	学習活動例	学習指導要領の 内容
		草書の美	30-31	1	・書道Ⅰの草書の学習を踏まえて、草書の成立と変遷、書風の特徴について理解を深める。	A(2)ア(7)、 イ(7)(4) ウ(7)(4)
		「書譜」 「十七帖」 「自叙帖」 「国申文帖」 コラム：芸術の書へ －形式の変化とともに－	32-39	5	・書道Ⅰの草書の学習を踏まえて、個性的で多様な草書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。 ・草書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。	B(1)ア(7)、 イ(7)(4)(7)(4)(5) 共通事項(1)ア、イ
		「集王聖教序」 「温泉銘」 「祭姪文稿」 「蜀素帖」 「伊都内親王願文」	40-45	6	・書道Ⅰの行書の学習を踏まえて、個性的で多様な行書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。 ・行書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。	A(2)ア(7)、 イ(7)(4)、 ウ(7)(4) B(1)ア(7)、 イ(7)(4)(7)(4)(5) 共通事項(1)ア、イ
		「張猛龍碑」 「鄭義下碑」 「孟法師碑」 「薦季直表」 「樂毅論」	46-51	6	・書道Ⅰの楷書の学習を踏まえて、個性的で多様な楷書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。 ・楷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。	A(2)ア(7)、 イ(7)(4)、 ウ(7)(4) B(1)ア(7)、 イ(7)(4)(7)(4)(5) 共通事項(1)ア、イ
		創作 －漢詩を書こう－ 鑑賞 －書的美や風趣を味わおう－ コラム：座右の銘 －自らの思いを書に託して－	52-56	4	・創作の手順に従い、書道Ⅰ・Ⅱの漢字の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、創作し、相互評価をする。 ・近現代の作品を鑑賞する。	A(2)ア(7)(4)、 イ(7)(4)、 ウ(7)(4) B(1)ア(7)、 イ(7)(4)(4)(5)
十月 ～ 十二月	仮名の書	仮名の美 －古今和歌集に見る展開－ 仮名一覧表 －平仮名・変体仮名－ 連綿	58-63	3	・書道Ⅰの学習を踏まえて、仮名の書の発展と古今和歌集との関係について理解し、鑑賞する。 ・書道Ⅰの学習を踏まえて、平仮名と変体仮名の用筆、字形の取り方について理解を深める。 ・書道Ⅰの学習を踏まえて、連綿による文字の表情の変化と、その効果について理解を深める。	A(3)イ(7)(4)、 ウ(7) B(1)ア(7)、 イ(7)(4)(7)(4)(5) 共通事項(1)ア、イ
		「高野切第一種」 コラム：伝称筆者 「本願寺本三十六人家集」 「針切」	64-69	6	・書道Ⅰの学習を踏まえて、平安時代の代表的な古筆や多様な表現の古筆を鑑賞し、仮名表現について理解を深める。 ・仮名の古筆の美について理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。	A(3)ア(7)、 イ(7)(4)、 ウ(7)(4) B(1)ア(7)、 イ(7)(4)(7)(4)(5) 共通事項(1)ア、イ
		行書きの美 －曼殊院本古今和歌集－ 散らし書きの美 一寸松庵色紙 コラム：料紙の世界	70-75	4	・仮名の古筆を鑑賞し、行書きと散らし書きの美について理解を深める。 ・書道Ⅰの学習を踏まえて、行書きと散らし書きの基本的技法を確かめる。 ・行書きや散らし書きの変化の付け方を理解する。	A(3)ア(7)、 イ(7)(4)、 ウ(7)(4) B(1)ア(7)、 イ(7)(4)(7)(4)(5) 共通事項(1)ア、イ

月	分野	学習内容 (教科書の構成)	教科 書頁	配当 時数	学習活動例	学習指導要領の 内容
		創作 —小倉百人一首を書こう— 鑑賞 —書の美や風趣を味わおう— コラム：紫式部と書	76-80	4	・創作の手順に従い、仮名の書で学んだ古筆の特徴や技法を生かして、創作し、相互評価をする。 ・近現代の作品を鑑賞する。	A(3)ア(7)(イ)、 イ(7)(イ)、 ウ(7)(イ) B(1)ア(7)、 イ(7)(イ)(エ) 共通事項(1)ア、イ
一月 ～ 三月	漢字 仮名 交じりの 書	古典を生かした表現 自分の意図に応じた表現 言葉と書の調和	82-93	6	・書道 I を踏まえて、古典や古筆の特徴を生かして、漢字と仮名を調和させたり構成を工夫したりして書き、漢字と仮名の調和する表現を理解する。 ・書道 I を踏まえ、書体・書風や用具・用材の工夫による表現の効果について理解し、自分の意図に応じた表現を工夫し技能を身に付ける。 ・文字の大きさや配列など、紙面の構成を工夫し、表現に変化をつけた際にもたらされる効果について理解する。 ・表現したい言葉と表現したい感興に応じて、どのような技能や構成が必要となるかを理解し、作品への生かし方を構想し工夫する	A(1)ア(7)(イ)(ウ)、 イ(7)(イ)、 ウ(7)(イ) B(1)ア(7)、 イ(7)(イ)(ウ) 共通事項(1)ア、イ
		創作 —心に響いた言葉を書こう— 鑑賞 —書の美や風趣を味わおう—	94-97	4	・創作の手順に従い、表現の工夫で学んだ技法を生かして、意図に基づいて創作し、相互評価をする。 ・近現代の作品を鑑賞する。	A(1)ア(7)(イ)(ウ)、 イ(7)(イ)、 ウ(7)(イ) B(1)ア(7)(イ)、 イ(7)(イ)(ウ)(エ) 共通事項(1)ア、イ
		書で発信しよう 心に触れる手紙	98-101	3	・教科書に掲載されている学校の PR ポスター例について考え、目的としている表現や、そのための工夫について考え、話し合う。 ・書の表現がもたらす効果を活用している例について考え、話し合う。 ・手書きで書かれた手紙について鑑賞する。 ・それぞれが書かれた背景や内容について考え、そこから受ける印象について話し合い、理解する。	A(1)ア(7)(イ)(ウ)、 イ(7)(イ)、 ウ(7)(イ) B(1)ア(7)(イ)、 イ(7)(イ)(ウ)(エ) 共通事項(1)ア、イ
	資料	書の表現と歴史 書道史略年表 書を支える人々 鑑賞の言葉を広げよう	102-115	適宜		B(1)イ(イ)(ウ)(エ)

評価	<p>評価は具体的に次のものを対象にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現を工夫して表した成果（作品） ・表現の意図・構想・表現の工夫の取り組みの記録（ワークシート等） ・考えたことや意見交換の記録（ワークシート等） ・発言（活動の様子）と、その記録（ワークシート等） ・作品制作への取り組み状況（活動の様子） ・学習活動への参加状況（出席状況・学習態度・意見発表等） <p>一年間の評定は上記の内容を総合的に判断する。</p>
----	---